

鹿屋

終戦記念日に 恒久平和を願う



8月15日、今坂町の小塚公園で「終戦記念日の集い」が行われました。

これは、戦争の歴史を次代に語り継いでいくことを目的に「鹿屋航空基地資料館連絡協議会」が毎年行っているもので、今年で14回目。集いには、旧海軍関係者や市民など約30人が参列し、全国一斉の黙とうに合わせて戦没者の御霊の冥福と恒久平和を願いました。

創作

ミュージカル「ヒメとヒコ～ある王の物語～」 奄美公演でも大反響



8月25日・26日の2日間、龍郷町と奄美市で、創作ミュージカル「ヒメとヒコ～ある王の物語～」が上演されました。

奄美大島と大隅を舞台にした同ミュージカルは、高校生が出演する創作ミュージカルで、昨年初めて上演。今年の上演も大好評となり、今回、もう一つの舞台である奄美大島での上演がついに実現しました。

この公演は、鹿屋公演の出演者に加えて奄美大島の高校生も出演。地元高校生の歌と踊りが加わって、鹿屋公演よりもさらにパワーアップした感動の舞台となりました。また、各公演のフィナーレでは、出演者全員が「大隅大好き、奄美大好き」と声を合わせて叫ぶなど、多くの人に感動を与えました。入場者数は、2回公演合わせて1,300人を越え、大反響の公演となりました。

鹿屋

ふるさとの文化財を探検



8月10日に吾平地区、17日に鹿屋地区、24日に串良地区、26日に輝北地区で、郷土の貴重な文化財を見学する「文化財探検隊」が行われました。

これは、市内の小学校5・6年生を対象に、文化財への理解と愛護精神を育んでもらおうと行われたもので、4日間で計60人が参加。

当日は、田の神像や石塔などそれぞれの地域の貴重な文化財を見学し、参加した児童は「自分の住んでいる地域にいろいろな文化財があることをはじめて知った。自分の近所も探検して見つけてみたい」と話してくれました。

鹿屋

古代人の足跡を振り返る



7月24日・8月5日・6日の3日間、大隅青少年自然の家で「文化財ウォッチング」が開催されました。

これは、古代の生活を感じ、文化財に対する理解と愛護精神を育んでもらおうと毎年行われているもので、市内の小学生27人が参加。1日目は粘土を使って土器を作り、2日目は勾玉作りや製作した土器の野焼きなどを行ったほか、遺跡の発掘などを体験。最終日には、野焼きした土器を取り出しました。完成した土器を手にとった児童たちは「貴重な体験ができて嬉しかった」「来年も参加したい」などと感想を話してくれました。